

筑波学院大学（大島慎子学長、茨城県つくば市）は、初年次教育とキャリア教育の一貫性をはかり、本年度の新生から新たなカリキュラムを導入している。集団に配慮する行動、他人に配慮する心の豊かさ、大学で学ぶ意義を理解する講座という三つの新たな試み。

初年次教育に新風

スクエアダンス導入

四月のオリエンテーション時には、筑波スクエアダンスクラブの協力で、集団行動を学ぶスクエアダンスを導入した。Careerの英語の指示に従って、多様な基本動作の組み合わせで踊る。学生が指示を守る、規律を守る、集団で行動することを学ぶ。

筑波学院大 創始者知る講座も

夏休み前の実践科目の授業では、「心の授業」を開催する。声楽家の岡本静子氏と、ピアニストの牛来千鶴氏が、音楽を通じて心の豊かさ、自分の存在意義や感謝の心、平和の大切さを語る。一年生に共同意識、思いやりの大切さを教える。

ツシユマンセミナーは、学校法人東京家政学院の創立者であり、筑波学院大学が継承しているKV A精神、すなわち知識 (Knowledge) の啓発、徳性 (Virtue) の涵養、技術 (Skill) の練磨の提唱者である大江スミの生涯と教育理念の講義を行う。